

## 令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	80	学校名	静岡県立浜松商業高等学校	校長名	西村 智子
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る。	・授業への満足度調査で「満足している」「適切な選択科目がある」と答える生徒85%以上	・生徒の授業全体への満足度は92.0%、商業科目については94.3% ・「適切な選択科目がある」へのアンケート結果は「当てはまる」89.5%。	A	・授業見学をした際に、どの授業も生徒が熱心に参加している様子が大変よかった。 ・商業科目についても昨年度の調査よりもかなり満足度が向上した。
		・外部コンクールへの応募3つ以上と校内での成果発表ができた	代表的なものは、以下のとおりである。 ｼﾞｯｸﾘﾌﾟ ﾛｼﾞｪｸﾄ・日経ストックリーグ・SDGs・文書デザインコンテスト・ビジネスアイデア甲子園・高校生探究/情報コンテスト。		・外部コンクールは、教育的効果を上げている。 ・他にも企業等との連携を複数展開した。
		・日商簿記3級合格70%以上	・11月受検で約17.9%が合格(昨年同時期39.4%)。昨年度は最終的に60%強。日商簿記検定1級合格者1名。		・1級合格者1名は立派である。
		・情報処理技術者試験合格者10名以上	・ITパスポート試験合格者7名、基本情報技術者試験合格者6名、情報セキュリティマネジメント試験合格者3名、合計16名。		・目標が10名に対して16名の達成は、すばらしい。
		・生徒が学習した知識に基づき自分の意見を適切にまとめて表現できる80%以上	・84.6%の生徒が「概ねできる」と回答。1年生の割合が88.1%と最も高く、昨年度の数値に比べると概ね達成できた。		・何のために学習するか、目的意識をもってほしい。
		・生徒の学習上の課題を的確に把握し、改善案を提示（結果検討会の開催）	・「基礎力診断テスト」（ベネッセ）の分析会1回と、「到達度テスト」（リクルート）の分析会1回の計2回を授業改善	B	・今後は、検討会での課題を踏まえ、効果的な活用方法や進路指導との連携を検討する。

様式第3号

			委員会にて実施した。		
		・進路指導への活用の検討	・令和6年度よりテスト結果を校内選考資料に取り入れ、3年間の成績や資格等と合わせて総合的な判断材料とする。		・特に、 <i>スタディアプリ</i> の活用方法は、各教科とも更なる工夫が必要である。
		・適切な進路選択ができたと感じた生徒100%	・結果的に、就職、進学とも100%達成。	A	・就職内定率、進学合格率ともすばらしい。
		・ <i>handy</i> を活用した生徒100% ・進路日より等発行10回以上（配信含む）	・ <i>handy</i> を活用した生徒100% ・進路日より4回発行、進路情報の配信77回。		・保護者との進路情報の共有が今後の課題である。
		・授業で教員のICT活用100% ・一人一台端末を活用した授業を行った教員80%以上	・情報管理担当教員による研修を複数回実施した。毎回の授業ではないが、教員のICT活用96.6%。 ・一人一台端末を活用して授業を行った教員は、94.1%。	A	・教員の意識の向上が見られた。さらに、ICT活用により効果的な授業を目指したい。
		・学習ニーズに合っていると答える生徒90%以上	・学習ニーズに合っていると答える生徒91.4%。	A	・各教科・科目において観点別評価の基準を定め、適切に実施できているが、シラバスの見直しは必要である。
		・「先生方は、教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒80%以上	・授業評価アンケートの該当項目において「工夫している・やや工夫している」が91.3%。		・目標は十分に達成している。 ・先生方が前向きに授業改善に取り組んでおり、生徒の授業態度に反映されていると思う。
イ	活力ある学校行事や部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性や健全な心身を身に着けた生徒を育成する。	・各特別活動において、「有意義だった」「満足」と答える生徒90%以上	・1年生94.8%、2年生89.3%、3年生87.8%と、平均すると90.6%で、浜商祭、体育大会、球技大会、修学旅行、スキー教室等、有意義だった印象が強い。	A	・どの行事も大変充実した内容であった。
		・「部活動基本方針」の遵守100% ・「部活動やボランティア活度に積極的に取り組み、主体性や協働性が	・93.2%という結果であり、ほとんどの教員が遵守している。 ・1年生92.8%、2年生82.2%、3年生	A	・今後も活動の見直しを含めて検討していく必要がある。 ・部活動を通じたボランティア活動が目立つ

様式第3号

		育成されている」生徒 85%以上	84.9%で平均すると、 86.6%という結果に なった。		てきたように思う。 ・各部活動の活動計画を 保護者にも確実に伝 えていく。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会年間12回以上開催</li> <li>・学年主任情報交換年間10回以上</li> <li>・学年集会各学期に2回以上実施。</li> <li>・個別面談年間3回以上実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会議9回実施(12月末)</li> <li>・学年集会5回実施(12月末)</li> <li>・個別面談は学校全体で4月と9月に面接週間を実施し、夏休みに三者面談を実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会だけでなく他学年ともコミュニケーションを密にして情報交換に努めていた。</li> <li>・学年主任の情報交換は朝の挨拶と兼ねて昇降口にて実施。学年間問わず生徒に声掛けができた。</li> </ul>
ウ	計画的かつタイムリーな生活指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、規範意識や倫理観を持つ、自立した主権者としての資質を持った生徒を育成する	・「主体的に挨拶ができる」生徒90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生93.7%、2年生90.0%、3年生90.8%で、平均すると91.5%という結果になった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員も含めて主体的に挨拶していく学校にしていきたい。</li> <li>・挨拶ができる生徒を100%に近づけたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSによる不適切な行為0件</li> <li>・生徒の交通事故前年比10%減(重大事故0件)</li> <li>・自転車交通違反切符交付数の着実な減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSによる不適切な行為6件。</li> <li>・交通事故(昨年度14件→今年度21件)は前年比66.7%増加、重大事故は0件。</li> <li>・自転車交通違反切符前年比72.5%減少。(昨年度809枚→今年度208枚)(12月末現在)昨年度に比べると、要因は不明だが、かなり減少した。</li> <li>・交通安全や交通マナーに適切な指導が行われている、に「あてはまる」生徒1年生91.1%、2年生86.0%、3年生93.0%で、平均90.0%。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、自転車の交通反則通告制度(青切符)が導入され、これまで以上に意識を高く持つことが必要と感じる。交通量の多い道路を通学しているので、くれぐれも重大な交通事故につながらないことを願っている。</li> </ul>
		・「基本的な生活習慣が身についている」生徒85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あてはまる」生徒1年生97.0%、2年生91.9%、3年生。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すばらしい結果であった。</li> </ul>
		・「スマホ、インターネット、マナーの向上に対して適切な指導が行われている」生徒80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あてはまる」生徒1年生89.8%、2年生89.3%、3年生83.4%で、平均すると、87.5%。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルについて内容を変えながら、定期的な指導が必要と感じている。</li> </ul>

エ	安心安全な学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練年3回実施</li> <li>・避難経路を理解し15分以内で避難点呼完了</li> <li>・参加対象者の地域防災参加率70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練3回実施。点呼完了10分以内達成。</li> <li>・参加対象者の地域防災参加率が、生徒73.5%、教員67.5%となったが、近年、地域役員のみ参加等に切り替わっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練については、常に真剣に取り組むことを望んでいる。特に、学校の部活動中、登下校時等、様々な場面を想定してイメージを持たせたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の大切さや健康への理解が深まった生徒80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生85.5%、2年生84.4%、3年生82.4%で、平均すると84.1%。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム研修において、事例を用いた人権感覚の醸成を図った。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒課通信の発行年5回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒課通信年発行5回達成。(配信含む)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場をわきまえ、考えて行動するように促すことができた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとを抱えた生徒をSCへつなげること</li> <li>・特別支援情報共有会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCは活用できた。(1月末現在31件)</li> <li>・特別支援情報共有会は年6回実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCの存在は大きいと思う。</li> <li>・生徒の情報共有を定期的に行うことにより、安定した学校生活を送ることができている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談できる先生がいる」全学年80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生73.7%、2年生72.6%、3年生79.4%。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生で進路選択の場面が増加すると、相談できる先生の割合が増加する傾向になることがわかった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活が充実している生徒90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生95.1%、2年生94.4%、3年生97.8%で、平均すると95.8%。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めに人間関係作りプログラムを行うことにより、スムーズなクラス運営につながっている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会で検討し、今後どのようにするかの見通しが立つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の見直しについては、今すぐ見直しという結論には至らなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッション性も検討課題かもしれない。今後、本当に必要なかを検討し、考えていく方向である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・每学期1回以上の安全点検</li> <li>・保健だよりの発行年10回以上(配信含む)</li> <li>・歯科受診率70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検は計画どおり実施。</li> <li>・保健だよりは年8回発行。</li> <li>・1月30日現在の要受診者の受診率(治療完了率)は全体で、耳鼻科13.4%、視力13.2%、歯科51.3%であった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要受診者の受診率が低すぎるので、100%の受診率を来年度以降目指していきたい。</li> <li>・健康の維持や向上は基本的なテーマなので、継続努力を期待したい。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期ごとの執行計画の立案と執行率 95%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執行率は達成の見込み。</li> <li>・施設設備の安全確保について保護者アンケートでは、14.7%がわからないと回答しており、施設の管理状況等について周知していくことも検討していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価の高騰等により予算的に厳しい状況が続いているが、執行計画に基づき適正に執行できている。</li> <li>・施設、設備の老朽化が目立ってきており安全性を第一に教育活動に支障がないよう対応していく。</li> <li>・施設の管理状況等について周知していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの更新 150回以上。</li> <li>・新聞掲載依頼 15回以上。</li> <li>・県X 20回以上。</li> <li>・パンフレット刷新の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP更新 138回（1月末現在）総アクセス数平均 968.5</li> <li>・県X 21回（1月末現在）</li> <li>・新聞掲載依頼 15回以上（1月末現在）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地道なHP更新、インスタグラム更新により情報を発信できている。</li> <li>・パンフレットは、大きく刷新されて大変好評であった。</li> </ul>
オ	<p>企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育活動は評価できる」保護者 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果 89.6%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足できる結果であった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者 85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果 80.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 学年会を各学年 1 回 YouTube 配信で開催した。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連絡や情報提供がきめ細かく行われている」保護者 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果 78.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きずなネットを積極的に活用している。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に余裕のある事前連絡案内の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会、学年会の参加者（閲覧数）が増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅くとも1か月以上前に保護者に連絡ができるよう準備を心掛けた。更に紙で配布せず、きずなメール配信で行うことで、保護者への連絡を徹底した。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「浜商のことがわかった」来校者 90%以上</li> <li>・志願者の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日体験入学（74校、1,224名）・オープンスクール（86校、550名）を各1回実施し、来場者アンケート「浜商のことが理解できた」が98.5%</li> <li>・中学校への出前授業は26回実施。</li> <li>・近隣中学校には2回以上訪問実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね達成できた。</li> <li>・出前授業で商業科目に対する理解が深まった。情報処理科のPRが課題である。</li> <li>・商業科職員で、一日体験入学やオープンスクールの自由相談コーナーを担当し、対話を通じて浜商へ興味を持つ生徒および保護者を醸成することができた。</li> </ul>	

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間・期限の厳守</li> <li>・会議資料のペーパーレス化及び確実な事前配付（提示）</li> <li>・時間外勤務時間の縮減に取り組んだ教職員80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かしら時間外勤務時間の縮減に取り組んでいる教職員88.2%（昨年度）→84.7%（今年度）。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務時間の縮減は、今後も大きな課題である。他校の事例等を参考にしていきたい。</li> </ul>
カ	ICT 推進や改革を意識し、効率的な業務の遂行と教育環境の整備を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事検討委員会の開催と改善案の提示</li> <li>・計画的整備の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と合わせての継続検討</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事検討委員会を実施し、職員アンケートの結果を踏まえ、一部の行事について検討し、改善案を提案した。継続審議が必要なものについては、引き続き検討していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動計画の提示の徹底（毎月・長期休業）</li> </ul>		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ化して管理した。共有しやすいが未提出部活もあった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な文書を誰もがすぐに取り出せる状態になる</li> </ul>		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NES上に共有DBを設置し様式等の共有化を行った。掲載データの見直し等を継続的にを行い、効果的に運用できるよう図っていく。</li> </ul>
キ	生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の浜商三訓を力強く実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書する習慣が身についている」生徒60%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生77.9%、2年生71.9%、3年生59.2%で、平均69.7%と、読書する習慣が身につけている生徒が、昨年度（55.1%）より増加した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した読書習慣は定着しつつあるが、担任による指導の違いがみられ、徹底にはもう一歩の努力が必要である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ研修の実施5回以上</li> <li>・課題解決型グループ討議2回以上</li> <li>・研修会1回以上</li> <li>・教職員の授業参観3回以上</li> <li>・全教職員の外部研修参加1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権（掲示）1回、クラス経営（年次別研修）2回、セミナー視聴（告知・参加）10回の計13回の研修を行った。</li> <li>・授業参観3回以上</li> <li>・昨年度（66.7%）→今年度（71.2%）</li> <li>・外部研修参加昨年度（74.5%）→今年度（66.1%）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修としては、観点別評価の基本的な内容について実施できた。</li> </ul>